

～ メガファーム実現を目指して ～
 徳永 大宜さん(西条市(旧東予市))

[所属・役職等]

西条市青年農業者協議会 理事

周桑農協青年部多賀支部長

1990年生まれ



☆経営概況☆

水稻 28ha (コシヒカリ6ha、ヒノヒカリ1ha、にこまる4ha、
 ひめの凜 10ha、業務用多収穫米7ha)

麦 12ha (裸麦ハルヒメボシ8ha、小麦4ha)、加工たまねぎ 1ha

労働力は本人と家族(父、母、妻)

☆ここがポイント☆

2012年に就農。就農のきっかけ「子供の頃から農業に興味があったからです。」

水稻、麦の全般において、できる限り機械化を図り、コスト削減に取り組んでいます。特に大型機械の導入により、10aあたりの作業時間を短縮し、大規模経営を目指しています。

水稻は、乾燥・調整まで行い、フレコンバックでJAに出荷しています。裸麦は、刈取り後、直接JAカントリーエレベーターに搬入し、麦作後は「ひめの凜」等水稻との2毛作栽培をしています。

100馬力以上のトラクターを3台持ち、すべてGPSを取り付けたスマートアシストで直進性を補助し、作業の細密さを追求しています。また、管理する水田には基盤整備施工時に多機能型自動給水栓を取り付け、水管理の省力化と高品質生産を行っています。

土づくりは、スタブルカルチによる深耕と土壌改良資材の散布(1度に1ha散布)を実施し、排水のため、弾丸暗渠やレーザーレベラーによる圃場の均平化を図っています。

今後は、ほ場が狭く、湿田のため作業効率が悪い未整備田の乾田化(基盤整備)を進め、将来的には、50ha規模の水稻・麦による経営を目指します。

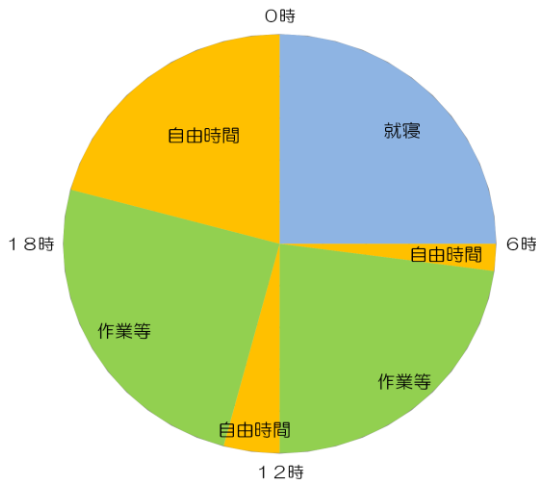


稲刈り作業風景



麦播種作業風景

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

地元の農家達と交流して情報交換等を行っています。

ほとんど休みが無いのですが、休みの日はバス釣りや海釣りに行ってリフレッシュしています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	休日は不定期（天候等により作業できない日が休日）					
← 栽培管理・収穫・出荷 →						
【普通期】	休日は不定期（天候により連続した休日となることがある）					
← 栽培管理 →					← 休日 →	



愛大農学部生に自動給水栓説明



スマートアシスト付きトラクター

☆これからの夢や目指すもの☆

就農当時からずっと目指している事が**メガファーム（規模拡大）を実現すること**です。

その為の人材育成・人材確保、機械化、コスト削減などの課題は山積みですが、実現に向け日々知識や技術を磨き、焦らず自分のペースで叶えていきたいと思ひます。

☆メッセージ☆

農業は想像以上に作業工程も多く、大変だと感じる事も多いです。天候に振り回されて思うように作業が進まず焦ってしまう事もあります。

しかし、**その何倍もやりがいを感じます**し、日々勉強にもなります。やりきった後の達成感もあります。是非この体験をして頂きたいです。